

2023年5月31日

各位

会社名 株式会社エスエルデー
 代表者名 代表取締役社長 有村 謙
 (コード：3223 東証スタンダード)
 問合せ先 経理部部长 金子 浩一
 (TEL. 03-6866-0245)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2023年2月時点において、スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2023年2月28日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準に適合しておりませんが、2025年2月期には上場維持基準を充たせるように各種取組を進めてまいります。

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通時価総額 (億)	流通株式比率 (%)
当社の適合状況およびその推移	2021年6月末時点(移行基準日)※1	1,246	8,265	5.2	52.9
	2023年2月28日時点※2	1,471	8,441	5.3	54.0
上場維持基準		400	2,000	10.0	25.0
当初の計画に記載した計画期間				2025年2月末	

※1 東京証券取引所が移行時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算出を行ったものです。

※2 当社が2023年2月28日時点での株式等の分布状況をもとに試算を行ったものです。流通株式時価総額の算出にあたっては、事業年度の末日以前3か月間の日々の最終価格の平均値(小数点第三位以下、省略) 623.10円を採用しております。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの実施状況及び評価

当社は、新型コロナの影響を受け、この数年通常の事業運営が困難な状況にありました。そうした中、いかなる状況下においても成長加速化が可能な戦略作成・実施およびスリムな組織体制を構築するとともに、コーポレート・ガバナンスの一層の強化を図ってまいりました。主な取組みの実施状況及び評価は、以下の通りでございます。

取り組み状況

(1) 新型コロナ影響からの早期脱却に向けた施策

2022年11月に、全国11カ所のkawara CAFEにて、『東京リベンジャーズ』コラボレーション・カフェを開催するなど、これまで専門店舗を中心としたコラボレーション・カフェ事業を、飲食店舗において一部実施、またお家時間を楽しむ流れの中、商業施設、駅などのポップアップ・ショッパ（食物販催事）を拡大するなど、顧客ニーズに応じた営業展開を実施しました。また、前期に続き、間接コストの低減を継続し、スリムかつ効率的な組織体制を構築してきました。こうしたことから、2023年2月期は、売上高は、3,090百万円（前年同期は2,432百万円）、営業利益は▲259百万円（同▲685百万円）と赤字となったものの、前年同期比426百万円の大幅な改善となりました。

(2) IR活動の実施

株主通信、四半期毎の決算説明資料などに加え、コラボレーション・イベントの開催など適宜情報開示を実施しました。

(3) 監査役会設置会社から監査等委員設置会社への移行

2022年5月26日開催の定時株主総会にて定款変更が決議されたことから、当社は監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行するなど、コーポレート・ガバナンスの強化を図りました。

3. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの課題および取組内容

2023年2月28日時点で、当社はスタンダード市場の上場維持基準において、流通株式時価総額が適合していない状況となっております。

主な理由としては、引き続き新型コロナの影響から、2023年2月期に営業利益が赤字となるなど、株価が低迷していることによるものとみております。そのため、早期に黒字化を図り、安定した成長拡大を実現させることが最優先課題ととらえ、以下の取り組みを実行し、2025年3月までにはスタンダード市場の上場維持基準への適合を目指していく所存でございます。

(1) 飲食サービス

各種営業施策による顧客数の拡大、魅力のあるメニュー投入による単価向上、また店舗エリア、顧客層にあった期間限定コラボイベントの投入などにより、店舗当たりの売上高拡大を図る。

(2) コンテンツ企画サービス

営業活動を強化し、プロデュース、コラボカフェ事業の受注拡大を図る。また、昨年度から強化しているポップアップ・ショッパの販売拡大を図り、収益基盤の強化を実施する。

以上